

第3学年 保護者の皆様

平成 30 年 10 月 26 日

4 月に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果に基づき、本校の教育課題や学力向上に向けた今後の取組等をまとめました。保護者の皆様もご一読いただき、ご理解ご協力をお願いします。

- 『我が校の強み弱み分析・評価シート』(表面)：本校生徒の強み・弱み及び現状等についての分析結果
- 『我が校の学ぶ力向上策』(裏面)：今回の学力調査の結果分析に基づく、学力向上に向けた授業改善等、本校が取り組む具体的な内容

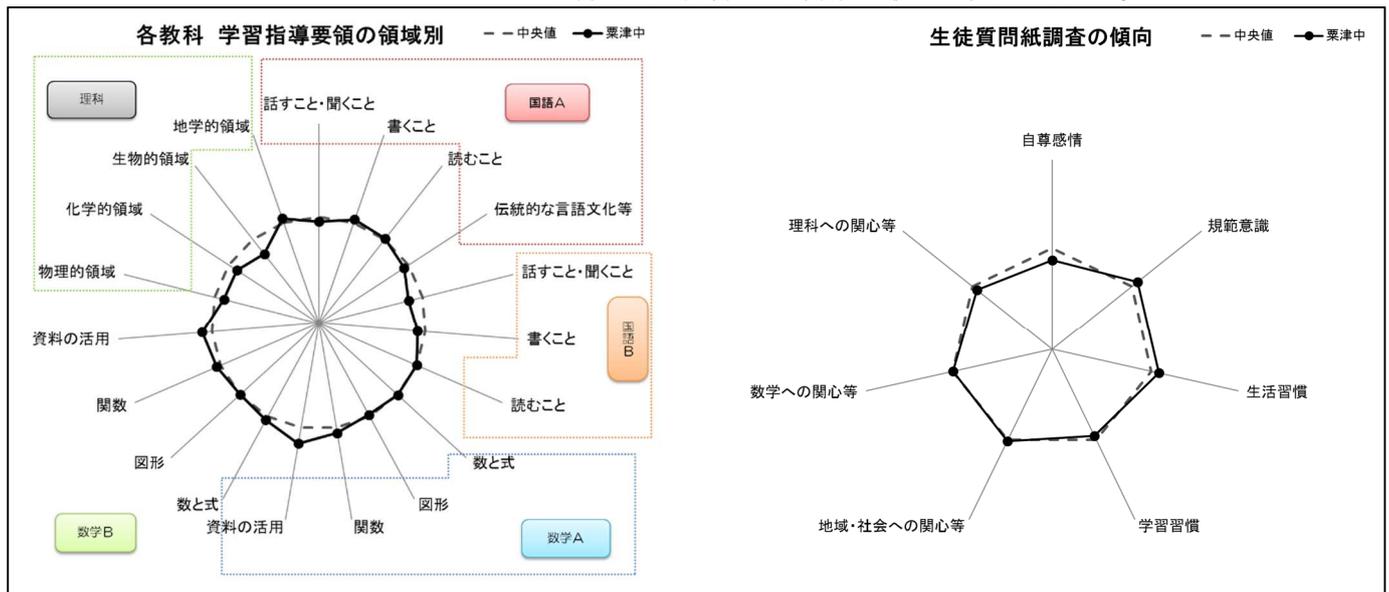
我が校の強み弱み分析・評価シート 平成 30 年度「全国学力・学習状況調査」分析結果

【結果について】 ○印=長所、●印=短所

- 《概要》 ○国語・数学・理科すべての平均正答率は全国平均を上回っている。
 ○「家で学校の宿題をしている」に肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均を上回っており、年々上昇している。
- 《国語》 ○「書くこと」と「読むこと」の正答率が高い。
 ●「漢字の書き取り」や「話すこと・聞くこと」の正答率が低い。
- 《数学》 ○与えられた資料や情報を読み取り、それを活用して、事象の傾向をとらえることができる。
 ●関数関係を捉え、数学的に解釈し、問題解決を行うことに課題がある。
- 《理科》 ○コンピュータを用いたシミュレーション資料などを活用し、考察して要因を考えることができる。
 ●主として「知識」に関する問題の正答率が低い。

◇ 強み・弱みレーダーチャート ◇

※本校の傾向を見るためのものです。
 ※学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



※グラフは全国平均正答率と本校平均正答率のポイント差に基づいて作成しています。
 ※破線はポイント差の中央値を表しています。
 ※破線より外側の場合は強み（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を要する項目）と捉えることができます。

【指導の充実に向けて】

本校では、「学びとる・思いやる・やり抜く」生徒の育成を学校目標に掲げ、生徒は、日々の教育活動を通し、集団生活の中で達成感・成就感等を味わいつつ自尊感情を高めている。しかし、「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標を持っている」に肯定的な回答をした生徒の割合は全国に比べ低い。

学習面では「学び合い学習」を継続することにより、「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」ことなどについて成果が上がっている。その一方で、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表」することなどには課題がある。

このことから、自分の考えを説明したり表現したりする場面の設定や、授業でのユニバーサルデザインの実践など、誰もがわかる魅力ある授業づくりをなお一層推進していく必要がある。